科目名 ：	大阪の歴史	単位数 ： 2 単位	必要スクーリング出席回数： 2 回
使用教科書 ：：なし			
学習書 ・副読本 ：：大阪の教科書 ビジュアル入門編 大阪検定公式テキスト（創元社）			

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート [R]	6 枚	2 枚	2 枚	2 枚
スクーリング [S]	8 回	3 回	3 回	2 回
テスト [T]	1 回	×	×	○
その他 （課題・実習等）	テスト得点不振者に課題あり			

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

・レポート（２通×３範囲＝６通）…学習書・副読本精読で作成可能

・スクーリング（最低２回）…学習情報を得るため、各範囲ともに出席

・テスト（２範囲のみ実施）…レポート復習で対応可能

2 学習の到達目標

①大阪の歴史の変遷を学習書・副読本、資料等で確認し、現在の大阪の形成過程を理解する。

②過去の歴史を学ぶことから、私たち自身の地元に対する郷土愛を持てるようにする。

③大阪の歴史的事件・人物・文化を、先入観にとらわれることなく各種資料等から読み解く。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b ：思考・判断・表現	c ：資料活用の技能	d ：知識・理解
観点の趣旨	○時系列理解を中心に教科書を精読し、歴史に関する知識を整理しようとしている。 ○スクーリング講義で様々な観点の提示や資料読解を通して、生徒自身の既知の歴史認識を補強・修正しようとする。	○学習書・副読本のコラム等を読むことで歴史認識を深める参考とし、コメントを書くことができる。 ○レポート作成において、歴史の知識や認識を確認することができる。	○スクーリングにおいて各種資料を使ったプレゼンテーションを展開し、参考図書やインターネットを使った資料検索および活用法を獲得している。 ○資料を基にしたレポートを作成し、資料活用の技能を向上する。	○基本的な歴史に関する知識を定着させ、各時代の特色を理解する。 ○大阪の歴史の展開を、地理的条件や日本史と関連付けて理解する。
評価方法	・記述の点検（レポート） ・観察（スクーリング） ・課題	・記述の確認及び分析（レポート） ・課題	・記述の確認及び分析（レポート） ・課題	・記述の確認及び分析（レポート） ・定期考査 ・課題

・学年末に５段階で評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1範囲	先史 古墳 飛鳥 古代	①先史時代／古墳時代 ②飛鳥時代／奈良時代 ③中世前期の難波／南北朝時代 ④中世後期の堺／戦国時代	○	○	○	○	a 地形の特色と古墳群の位置 b 港湾都市としての発展 c 地図資料等の紹介 d ヤマト政権との関係性 a 四天王寺建立の経緯 b 大阪と仏教の関係性 c 文献資料等の紹介 d 古代大阪の政治的重要性 a 渡辺津･楠木正成の紹介 b 中世大阪の政治的変遷 c 文献資料等の紹介 d 中世空白期の理解 a 堺の貿易と大坂本願寺の繁栄 b 自治都市･宗教都市としての意義 c 文献資料等の紹介 d 大坂復権の理解	・レポート ・スクーリング
2範囲	中世 近世	⑤安土大坂時代／江戸時代慶長年間 ⑥江戸時代前期／江戸時代文化史① ③江戸時代文化史②／江戸時代天保年間	○	○	○	○	a 豊臣城下町建設と大坂の陣の紹介 b 都市機能充実と政治力推移を理解 c 文献資料等の紹介 d 近世大阪発展への移行 a 経済都市としての繁栄を紹介 b 大坂発展による元禄文化の隆盛 c 文献資料等の紹介 d 大坂町人層の活動の理解 a 民間学問の隆盛と幕末政治の解説 b 町人学者と大塩平八郎の活動 c 文献資料等の紹介 d 学問隆盛と幕政衰退の理解	・レポート ・スクーリング
3範囲	近代 現代	①幕末維新期／明治時代 ②明治時代／大正・昭和前期 ③昭和時代(占領期)／昭和時代(大阪万博)	○ ○ ○	○ ○	○	○ ○ ○	a 幕末動乱期と明治維新後の状況紹介 b 都市機能の変化の解説 c 五代友厚の紹介など d 近代都市としての発展 a 工業都市へ転換を紹介 b 都市機能の変化と都市拡大の推移 c 大大阪資料の紹介 d 現代につながる都市の歴史の理解 a 戦時下･占領下と高度成長期の解説 b 空襲被害や大阪万博の解説 c 写真資料等の紹介 d 過去からつながる未来への展望	・レポート ・スクーリング ・テスト ・課題

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：資料活用の技能　　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。